

- 問1 奈良時代、中央政府は地方の支配を強化するため、諸国に対してその地域の情報をまとめた報告書を提出させました。各地域の産物、土地の肥沃（ひよく）さ、地名の由来、そして古くから伝わる伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
- 万葉集
 - 古事記
 - 日本書紀
 - 風土記
- 問2 聖武天皇が、都に東大寺を、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
- 墾田永年私財法によって得られた余剰資金を管理する拠点を作るため
 - 仏教の力を用いて、疫病や災害などの社会不安を解消し、国家の安定を図るため
 - 遣唐使を廃止し、日本独自の国風文化を全国に浸透させるため
 - 地方の豪族を仏教勢力として組織化し、武力によって蝦夷を制圧するため
- 問3 古代の九州北部に設置された大宰府の役割と、その背景について述べた文として最も適切なものはどれですか。（2022年 山形県公立入試 類似）
- 朝鮮半島や大陸との外交窓口としての役割と、防人の配置などを通じて国防上の拠点を兼ねていた。
 - 明治政府が北方の警備と開拓を同時に行うために設置し、屯田兵を配置した。
 - 鎌倉幕府が御家人たちの間で起こった土地に関する訴訟を裁決するために設置した。
 - 東北地方の蝦夷（えみし）に対抗するための軍事拠点として、鎮守府とともに設置された。
- 問4 743年に「墾田永年私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。（2024年 静岡県公立入試 類似）
- 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。
 - 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。
 - 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。
 - 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。
- 問5 聖武天皇が「大仏造立の詔（みことり）」を出した目的と、その後の社会への影響について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
- 仏教の力で社会の不安を払拭しようと考え、国家的な大事業を通じて中央集権体制の強化を図った。
 - 蘇氏などの有力豪族の勢力を抑えるため、天皇自らが僧侶となって政治の全権を握ることを宣言した。
 - 遣唐使を廃止して日本独自の文化を発展させるため、大陸の影響を受けない巨大な建造物を計画した。
 - 班田収授法を廃止して私有地を認める代わりに、農民から寄付を募って寺院を建立させた。
- 問6 奈良時代以降、人口の増加にともない口分田が不足し、班田収授法を維持することが困難になりました。これに対処するために出された、新しく開墾した土地の永年私有を認める法律を何といいますか。また、この法律が歴史に与えた影響について述べたものを選びなさい。（2018年 大阪府公立入試 類似）
- 「墾田永年私財法」により、公地公民の原則が崩れ、貴族や寺院による荘園開発が進むきっかけとなった。
 - 「新田開発令」により、すべての農民に新しい土地が平等に分配され、班田収授の仕組みが強化された。
 - 「三世一身の法」により、三代にわたる私有が認められたことで、口分田の返還が完全に行われなくなった。
 - 「大宝律令」により、土地の売買が自由化され、農民が自らの土地を自由に処分できるようになった。
- 問7 大宝律令の制定によって確立された「公地公民」の原則に基づき、当時の人々の生活や税制について述べたものとして正しいものはどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）
- 大名に参勤交代を義務付け、その領地で収穫される米の量を石高として登録した。
 - 有力な農民に名主としての権利を認め、年貢の納入を請け負わせる名主制を導入した。
 - 検地を行い、農地を実際に耕している農民を土地の所有者として認め、地租を課した。
 - 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。
- 問8 聖武天皇が752年に東大寺の大仏を完成させ、また全国に国分寺や国分尼寺を建立した目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 香川県公立入試 類似）
- 仏教の力によって社会の不安を鎮め、国家の平安を願うため。
 - 巨大な建築物を作ることで、大陸の諸国を威嚇し外交を有利にするため。
 - 貴族や豪族の富を特定の寺院に集め、その権力誇示に利用するため。
 - 武力を補完するために僧兵を組織し、地方の反乱を制圧するため
- 問9 8世紀の奈良時代、唐から日本へ渡る際に5度の失敗と失明という困難を乗り越えて来日し、日本の僧侶に正しい規律を授ける制度を整えた人物は誰ですか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
- 空海
 - 鑑真
 - 最澄
 - 行基
- 問10 710年に現在の奈良県に遷都された平城京は、当時の東アジアにおいて強大な影響力を持っていたある国の都をモデルに設計されました。そのモデルとなった国の名前と、都の名称の正しい組み合わせを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
- 隋の大興城
 - 唐の洛陽
 - 隋の長安
 - 唐の長安
- 問11 奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』の説明として、記述の形式や内容に合致するものを次の中から選びなさい。（2017年 京都府公立入試 類似）
- 地方の産物や地理、伝承をまとめて政府に報告するために作られた。
 - 出来事を年代順に記述する「編年体」という形式で書かれている。
 - 日本に現存する最古の歌集であり、防人の歌などが収められている。
 - 稗田阿礼が読み上げた内容を太安万侶が筆録したものである。
- 問12 律令制のもとで、正丁（成人男性）に対して課せられた負担のうち、布や絹、あるいは各地の海産物や塩といった特産品を都まで運んで直接納めることとされた租税の名称を選びなさい。（2026年 滋賀県公立入試 類似）
- 調
 - 租
 - 雑徭
 - 庸
- 問13 聖武天皇が平城京に東大寺を建立し、金堂内に銅で作られた巨大な大仏（盧舎那仏）を造立した目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）
- 遣唐使の派遣を停止し、大陸の影響を受けない日本独自の文化を確立するため
 - 藤原氏などの有力貴族の勢力を抑え、天皇による中央集権体制を誇示するため
 - 仏教の力に頼ることで、疫病や社会の混乱を鎮め、国家の安泰を願うため
 - 武士の台頭に対抗するため、寺院に独自の軍事力を持たせて都を警護させるため

- 問1 奈良時代の聖武天皇は、飢饉や疫病の流行、政治の混乱といった社会の不安を取り除くため、仏教を深く信仰して国を安定させようと考えました。このような「仏教の力によって国家を守ろうとする思想」を何といいますか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
1. 王土王民 2. 神仏習合 3. 本地垂迹 4. 鎮護国家
-
- 問2 平城京跡からは、当時の税の仕組みを知る手がかりとなる「木簡」が多数出土しています。例えば、紀伊国（現在の和歌山県）から塩が納められたことを示す記述が見つっていますが、このような地方の特産品を納める税制度について、その特徴を説明したのとして最も適切なものを選びなさい。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 各地の特産品を、納税者自らが都まで運んで納める義務 2. 都で年間10日間働く代わりに、布を納める義務 3. 収穫した稲の約3%を、各国に設置された倉庫に納める義務 4. 九州北部の防衛のために、3年間兵士として派遣される義務
-
- 問3 奈良時代の743年に発令された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法 2. 三世一身の法 3. 公地公民制 4. 班田収授法
-
- 問4 大宝律令などの法律に基づき、人々に土地を割り当てて税を納めさせる仕組みや、地方を統治する組織を説明した資料の内容として、正しいものはどれですか。 (2018年 滋賀県公立入試 類似)
1. 豪族が代々所有する私有地を認め、地方の有力者が独自に裁判や軍事を行うことを許可した。 2. 外国との交易を円滑にするための役所を各港に設置し、軍事教練を義務付けることで国防を強化した。 3. 戸籍を作成して人々に口分田を与える班田収授の法を定め、地方を国・郡・里に分けて統治した。 4. 武士を各地方に派遣して土地の管理を行わせ、年貢を米ではなく全て絹や布で納めさせた。
-
- 問5 古代の租税制度について述べた次の説明のうち、全国各地から平城京に集められた「調」の説明として正しいものはどれか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 九州北部の警備のために、防人として兵役につく。 2. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の一部を地方の役所に納める。 3. 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。 4. 都での労働の代わりとして、布を中央政府に納める。
-
- 問6 8世紀の奈良時代、聖武天皇のころを中心として栄えた、遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受けた文化を何と呼びますか。東大寺の正倉院に収められた宝物にペルシアやインドの影響が見られるような、国際色豊かな特色を持つものを選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 国風文化 3. 弘仁・貞観文化 4. 飛鳥文化
-
- 問7 聖武天皇が東大寺に巨大な仏像（大仏）を造立することを決意した背景には、当時の社会情勢が深く関わっています。その背景として適切な説明を選んでください。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 日本各地でキリスト教が広まり始め、それに対抗するために仏教寺院のネットワークを強化したかったため 2. 天然痘の流行や飢饉、貴族による政変が続き、それらの災いを仏教の力で鎮めたいと考えたため 3. 大陸との国交を断絶したことで日本独自の文化が衰退し、改めて唐の文化を取り入れる象徴とするため 4. 武士の勢力が増大し、その力を抑えるために仏教を国の最高位の教えとして再編しようとしたため
-
- 問8 聖武天皇が、都に東大寺の大仏を造営したり、全国に国分寺・国分尼寺を設置したりした背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
1. 貴族や僧侶の勢力を抑え、天皇の権力を絶対的なものにするため 2. 律令制度を強化し、法に基づく中央集権体制を完成させるため 3. 唐の進んだ文化を積極的に取り入れ、日本の国際的地位を高めるため 4. 仏教の力で社会の不安を取り除き、国家の安定を図るため
-
- 問9 奈良時代、元明天皇の命により、各国の産物、土地の肥沃さ、地名の由来や古くから伝わる言い伝えなどを記録して提出させた報告書を何といいますか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 古事記 2. 風土記 3. 日本書紀 4. 万葉集
-
- 問10 奈良時代、聖武天皇が都に東大寺を建立し、さらに全国へ国分寺・国分尼寺を建てるよう命じた理由として、当時の背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。 (2022年 高知県公立入試 類似)
1. 律令制度の基本となる戸籍の作成を、僧侶に管理させる拠点とするため 2. 遣唐使を派遣するための莫大な費用を、各地の寺院から集める仕組みを作るため 3. 伝染病の流行や政治的な混乱などの社会不安を、仏教の教えによって鎮め、国を安定させるため 4. 武士の勢力に対抗するために僧兵を組織し、天皇中心の軍勢力を強化するため
-
- 問11 8世紀頃の讃岐国（現在の香川県）において、地方政治の拠点であった「讃岐国府」のような役所を中心に行われた統治体制の説明として、適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 中央から派遣された郡司が、現地の有力者である国司を指導することで、都の文化や制度を全国に広めた。 2. 各地の有力な豪族が藩主となり、中央政府の干渉を受けることなく独自の法律や税制を用いて領地を統治した。 3. 中央から派遣された官吏が、地域の有力豪族を実務担当者に任命し、戸籍の作成や租税の徴収を管理した。 4. 武士の棟梁が地方ごとに地頭を派遣し、現地の豪族であった郡司に代わって土地の管理や警察権を行使した。
-
- 問12 平城京跡などの遺跡から出土する「木簡」の中には、送り主の氏名や地名のほか、中身の品目（布や海産物など）が詳しく記されたものが多く見られます。このような木簡が「税」に関連して果たしていた役割について、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 防人が九州沿岸の警備に赴く際、その身分や出身地を証明し、兵役の免除を受けるための身分証として機能していた。 2. 租として徴収された稲が、各地方の国庫で適正に保管されているかを検査するための証明書として機能していた。 3. 日宋貿易において、日本から輸出する硫黄や刀剣が密貿易品ではないことを示すための許可証として機能していた。 4. 地方の特産品を都へ運ぶ「調」などの荷物に付けられ、どここの国や郡から納められたものかを明確にする荷札として機能していた。
-
- 問13 奈良時代、743年に出された「墾田永年私財法」では、それまでの「三世一身の法」で定められていた期限付きの土地所有ルールが大きく変更されました。この法令によって、新しく開墾した土地の所有権はどのような形で認められるようになったか、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 子、孫、ひ孫の三代に限って認められる 2. 開墾した本人の一代に限って認められる 3. 期限を定めず、永久に私有することが認められる 4. 開墾から一定期間が経過した後は、再び国に返還される

1. 法然 2. 行基 3. 空海 4. 鑑真

1. 平氏一族が権力を握り、厳島神社の造営など貴族的な文化が華開いた。	2. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色をもつ。	3. 国学や蘭学が発達し、庶民の間でも読み・書き・算盤が普及した。	4. 武士の台頭を背景に、力強く素朴な気風をもった文化が全国的に広まった。
-------------------------------------	---	-----------------------------------	---------------------------------------

1. 大宰府の役人として採用され、大陸からの使節を接待する役割を担った
2. 朝廷に直接仕える近衛兵として、都の平城京の警護を専門に行った。
3. 朝鮮半島から移り住んだ渡来人によって組織され、東北地方の蝦夷を鎮圧した。
4. 主に東國の農民から選ばれ、国防の重要拠点であった九州北部の警備にあたった。

1. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。
2. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。
3. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。
4. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。

1. 口分田 2. 墾田 3. 名田 4. 位田

1. 古今和歌集 2. 懷風藻 3. 新古今和歌集 4. 万葉集

1. 日本書紀 2. 風土記 3. 万葉集 4. 古事記

1. 天武天皇は、律令国家の仕組みを整えるとともに、仏教を広めるため行基を大僧正に任じて大仏を造らせた。	2. 推古天皇は、聖徳太子の補佐を受けて仏教を厚く保護し、地方の豪族に命じて国分寺を建立させた。	3. 桓武天皇は、仏教勢力の政治介入を避けるために都を平安京へ移し、全国に国分寺を建立した。	4. 聖武天皇は、仏教によって国家の安泰を願うため、平城京に東大寺を建立し、全国に国分寺を設けた。
--	--	--	---

1. 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説

2. 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史

3. その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態

4. その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類

1. 万葉集・風土記 2. 源氏物語・枕草子 3. 古事記・日本書紀 4. 平家物語・太平記

1. 小野妹子 2. 菅原道真 3. 藤原道長 4. 聖徳太子

1. 法隆寺金堂 2. 正倉院 3. 平等院鳳凰堂 4. 登呂遺跡

1. 土地を所有する権利が農民に平等に与えられたことで、貴族の権力が弱まり、武士が台頭するきっかけとなった。	2. 土地の売買が完全に自由化されたため、貧富の差がなくなり、班田収授の法が円滑に運用されるようになった。	3. 土地の永代私有が認められたことで、貴族や寺社による大規模な私有地が形成され、公地公民制が崩れ始めた。	4. すべての土地を国が管理する方針が強化され、農民への口分田の割り当てがより厳格に行われるようになった。
--	---	---	---

1. 天武天皇 2. 推古天皇 3. 天智天皇 4. 聖武天皇

- 問1 大化の改新以降、8世紀初頭にかけて整備された律令制度の目的と内容について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 欧米の近代的な憲法を手本に、議會を開設することで、国民が政治に参加する仕組みをつくること。 | 2. 武家社会の慣習をもとに、御成敗式目を制定することで、武士による裁判の基準を明確にすること。 | 3. 大名を統制するために武家諸法度を定め、幕藩体制による安定した政治を実現すること。 | 4. 唐の法律を参考に、刑罰や政治の仕組みを整えることで、天皇を中心とする中央集権的な国家をつくること。 |
|--|--|---|--|
- 問2 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 安土城 | 2. 大宰府 | 3. 多賀城 | 4. 国分寺 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問3 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1. A:国 B:郡 C:里 | 2. A:藩 B:郡 C:村 | 3. A:道 B:府 C:県 | 4. A:国 B:里 C:郡 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
- 問4 飛鳥時代から奈良時代にかけて整備された律令国家の税制のうち、収穫高そのものではなく「口分田の面積」を基準として課され、収穫した稲を地方の倉庫に貯蔵することが義務付けられていた税はどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
| 1. 絹や糸、または地方の特産物を納める調 | 2. 地方の国司のもとで年間60日を限度に働く雑徭 | 3. 都での労役の代わりに布を納める庸 | 4. 班田収授法によって与えられた土地に課される租 |
|-----------------------|---------------------------|---------------------|---------------------------|
- 問5 律令制のもとで、正丁（成人男子）に課された税のうち、都へ赴いて年間10日間働く「歳役」という労役の代わりに、布を納めることとされたものを何といいますか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 租 | 2. 雑徭 | 3. 調 | 4. 庸 |
|------|-------|------|------|
- 問6 奈良時代、西アジアやインドを起源とする国際色豊かな文化や宝物が、中国大陸での交易を経て日本へもたらされました。これら多くの宝物が現在まで良好な状態で収められている正倉院の品々に見られるような、内陸アジアや西アジアとのつながりを示す陸上の交易路を何といいますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
| 1. 茶馬古道（ちゃばごどう） | 2. スパイスルート（香辛料の道） | 3. アッピア街道 | 4. シルクロード（絹の道） |
|-----------------|-------------------|-----------|----------------|
- 問7 8世紀の日本の特色をまとめた記述において、当時の文化は「大陸の影響を受けた国際色豊かな文化」と表現されます。この文化を象徴する正倉院に収蔵されている宝物の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 平安京への遷都以降に発達した、日本独自の風土や感覚に基づいた品々 | 2. 禅宗の影響を受け、武士の精神性を反映した簡素で力強い品々 | 3. ヨーロッパからの宣教師によってもたらされた、活版印刷機やキリスト教関連の品々 | 4. ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問8 奈良時代の8世紀半ば、聖武天皇が多額の費用と労働力を投じて大仏の造立や国分寺の建立を進めた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 他国からの軍事的侵略を防ぐため、寺院を軍事的な要塞として利用するため | 2. 急速に普及していたキリスト教に対抗し、日本の伝統的な神道を保護するため | 3. 仏教を国家の教えとして広めることで、疫病や社会不安による混乱を鎮めるため | 4. 有力な貴族たちの財産や権力を抑制し、天皇による独裁体制を強化するため |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
- 問9 防人として九州へ派遣された兵士たちが、故郷や家族を思って詠んだ歌が収められている、日本最古の和歌集を次から選びなさい。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|--------|
| 1. 古今和歌集 | 2. 新古今和歌集 | 3. 日本書紀 | 4. 万葉集 |
|----------|-----------|---------|--------|
- 問10 ある天皇が発した命令文の中で、「人々の救済や仏教を盛んにするために、金銅の大仏を一体造る。このことを全国に知らせ、私の気持ちを皆に知ってほしい」という趣旨の内容が記されています。この命令を出した、東大寺の大仏造立を命じた人物は誰ですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 推古天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 大宝律令の制定によって確立された「公地公民」の原則に基づき、当時の人々の生活や税制について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 検地を行い、農地を実際に耕している農民を土地の所有者として認め、地租を課した。 | 2. 有力な農民に名主としての権利を認め、年貢の納入を請け負わせる名主制を導入した。 | 3. 戸籍を作成して人々に口分田を与え、代わりに租・庸・調などの税を課した。 | 4. 大名に参勤交代を義務付け、その領地で収穫される米の量を石高として登録した。 |
|--|--|--|--|
- 問12 奈良時代末期に成立した日本最古の和歌集で、大伴家持が編纂に関わったとされる作品を次から選びなさい。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|--------|--------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 古今和歌集 | 3. 懐風藻 | 4. 万葉集 |
|-----------|----------|--------|--------|
- 問13 奈良時代の平城京には、律令制度に基づいて地方から多くの物資が運び込まれました。当時の税制度である「租・庸・調」のうち、都での労働の代わりに布を納める「庸」や、地方の特産物を納める「調」が都に運ばれた実態について、正しい説明を選びなさい。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 輸送中の盗難を防ぐため、すべての物資は海路を使って瀬戸内海経由で運ばれた。 | 2. 都の役人が地方へ向向き、それぞれの村で物資を回収して都へ持ち帰っていた。 | 3. これらの税はすべて、九州の防衛を担当していた防人の給与として直接送られていた。 | 4. 農民は、都まで自分たちの足で重い荷物を運ぶという大変な負担を負っていた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 古代の日本で行われた「口分田」をめぐる仕組みについて、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 江戸時代の村において、名主・組頭・百姓代といった村役人が中心となって、年貢のとりまどめを行った土地である。 | 2. 律令に基づき、6歳以上の男女に土地を与え、死後は国に返還させる一方で、租や労役の負担を課した。 | 3. 明治時代の地租改正において、地価を記した地券を交付することで土地の所有権を認め、金納の義務を課した。 | 4. 室町時代に農民たちが「惣」と呼ばれる自治組織をつくり、村の共有地として共同で管理・運用した。 |
|--|--|---|---|

- 問1 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 香川県公立入試 類似）
- 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。
 - 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。
 - 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。
 - 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。
- 問2 奈良時代の天平文化は、大陸との活発な交流を背景とした国際色彩豊かな文化として知られています。平城京の東側に位置する東大寺の境内にあり、シルクロードを通じてもたらされた世界各地の工芸品や文書が現代まで大切に保管されてきた、校倉造（あぜくらづくり）の倉庫を何といいますか。（2023年 愛知県公立入試 類似）
- 正倉院
 - 唐招提寺
 - 興福寺
 - 法隆寺
- 問3 奈良時代の743年に出土された、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- 三世一身の法
 - 大宝律令
 - 墾田永年私財法
 - 班田収授法
- 問4 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
- 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。
 - 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。
 - 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。
 - 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。
- 問5 8世紀の日本において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことり）や大仏造立の詔を出した歴史的背景と目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- 戦乱で亡くなった多くの武士や民衆を供養し、極楽往生を願う念仏の教えを全国の農民に普及させるため。
 - 日本古来の神々と仏教を一体とする考え方を広めることで、地方の豪族が持つ独自の宗教的権威を否定するため。
 - 寺院に国民の戸籍を管理させる制度を整えることで、税の徴収を確実にし、幕府の財政基盤を強固にするため。
 - 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。
- 問6 奈良時代に編纂された「風土記」の記述内容として、当時の政府が地方を管理する上で重視した視点に当てはまらないものはどれですか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
- 地名の由来や、古くからその地域に伝わっている伝説
 - その土地が農業に適しているかなどの肥沃の状態
 - 天皇の家系や中央政府の正統性を裏付ける国家の歴史
 - その土地で得られる動植物や鉱物などの産物の種類
- 問7 奈良時代の天平文化を代表する文化財の一つで、大伴家持が編纂に関わったとされる、日本に現存する最古の歌集を何といいますか。（2026年 静岡県公立入試 類似）
- 万葉集
 - 古今和歌集
 - 新古今和歌集
 - 懷風藻
- 問8 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
- 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。
 - 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。
 - 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。
 - 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。
- 問9 8世紀前半、聖武天皇の時代に都の平城京を中心に栄えた、仏教と唐の文化の影響を強く受けた国際的な文化を何といいますか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- 天平文化
 - 飛鳥文化
 - 弘仁・貞観文化
 - 国風文化
- 問10 奈良時代に九州北部に配置された「防人（さきもり）」について、この制度が設けられた背景や実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 京都府公立入試 類似）
- 地方の有力な武士が結成した軍事組織であり、平城京の警備や天皇の身辺警護を主な任務とした。
 - 源頼朝が全国の要所に設置を認めさせたもので、土地の管理や年貢の徴収を行うことを目的とした。
 - 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による侵攻の脅威に備えて国防を強化するために設置された。
 - 東北地方の蝦夷と呼ばれた人々ととの戦いに備え、近畿地方の農民を北関東へ移住させた軍事制度である。
- 問11 古代日本の律令国家において、戸籍に登録された6歳以上の人々に、生きている間だけ一定の面積の田（口分田）を分け与え、死後は国に返還させた制度を何といいますか。（2015年 長野県公立入試 類似）
- 太閤検地
 - 公地公民の制
 - 班田収授法
 - 地租改正
- 問12 8世紀初めに完成した日本の歴史書について、稗田阿礼が暗誦した内容を太安万侶が書き記し、神話から推古天皇までの事柄をまとめた書物の名称を選びなさい。（2023年 山形県公立入試 類似）
- 万葉集
 - 日本書紀
 - 古事記
 - 風土記
- 問13 鑑真が唐招提寺を拠点として、当時の日本社会や仏教界において果たした役割や背景として最も適切な説明を次から選びなさい。（2022年 東京都公立入試 類似）
- 武士の間に禅宗を広め、質素で力強い文化の形成に寄与した
 - 大規模な灌漑工事や橋の建設などの社会事業を推進し、地方の農村を再建した
 - 正しい僧侶のあり方を定めた戒律を伝え、公式に僧となるための制度を整えた
 - 浄土信仰を広めることで、戦乱に苦しむ民衆の救済を第一の目的とした
- 問14 飛鳥時代から平安時代にかけての古代の日本で行われた、唐との交流やその影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2025年 北海道公立入試 類似）
- 朱印船を用いた貿易が盛んになり、その航路を利用して鑑真が古代の日本へ招かれた。
 - 中世の時代に遣唐使が派遣され、鑑真によって新しい仏教の教えが伝えられた。
 - 遣唐使に代わって中世の朱印船が派遣されるようになり、大陸の文化が日本に広まった。
 - 遣唐使の派遣を通じて唐の文化や制度が取り入れられ、僧侶の鑑真が来日した。